

相武台神社夏まつりが開催されました

7月26日（土）に、相武台神社恒例の夏まつりが開催されました。

午前中には、座間神社宮司を迎え、氏子委員や関連団体の代表者らが参列して、夏季例大祭の式典が本殿にて厳かに執り行われました。また、神輿もお祓いを受けました。

そして、まつりは神輿の渡行と山車の巡行から始まりました。

午後からは、地元商店会や協力団体による模擬店が開かれました。

夕方からは演舞が始まり、スイカ割り大会やスイカの無料サービスをはさんで、歌あり、合奏あり、ダンスあり、舞踊ありで、最後はビンゴゲームで大いに盛り上がりました。



連日の猛暑にもかかわらず、多くの家族連れや子供達の来場があり、思い出に残る楽しい夏の一日となりました。

相武台地区社協主催の「親子ふれあい教室」を開催しました

8月21日（木）に、相武台地区社協では児童と保護者を対象とした、「親子ふれあい教室」を相武台老人憩いの家において開催しました。

当日は児童、保護者、主催者が約20名参加しました。

初めに、松下孝治氏を講師として、紙ヒコーキ作りが行われました。ストローに紙の輪を2個貼り付ける、簡単なものですが、紙の幅や輪の大きさが違うと、飛び方が変わる事が分かってくると、2つ3つと作って、飛ばしてみていました。

その後、場所を庭に変えて、6年振りとなる流しそうめんを行いました。流しそうめんは初めてという人が殆んど、流れてくるそうめんを上手く捕まえては、美味しそうに食べていました。

最後に、かき氷とスイカが振る舞われ、帰りにはお弁当やお菓子などをお土産に持って帰ってもらいました。

